

都市再生整備計画(第2回変更)

小美玉スポーツシューレ地区

茨城県小美玉市

平成25年2月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	小美玉市	地区名	小美玉スポーツシュレ地区	面積	1,031 ha
計画期間	平成	21	年度	～	平成	25	年度
交付期間	平成	21	年度	～	平成	25	年度

<b>目標</b> 人・もの・情報が集う新しい交流のまちへ ○スポーツ・レクリエーションを通じた夢・健康づくり ○賑わいを創出する交流の場づくり ○市全体及び地域振興に寄与する魅力ある拠点づくり
---

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 ・小美玉市は、茨城県のほぼ中央に位置し、平成18年3月に東茨城郡小川町、同郡美野里町及び新治郡玉里村の2町1村が合併して誕生した。 ・当地区は、広大な市の未利用地(約10ha)が所在し、周辺は良好な自然環境も残されており、その有効活用が求められてきた。 ・さらに、当地区は、JR常磐線羽鳥駅及び常磐自動車道岩間ICに近接しており、首都圏及び県内からアクセスが容易である。平成21年度末には市内の茨城空港(百里飛行場の民間共用化)が開港するなど、ポテンシャルの高い地域である。 ・小美玉市総合計画(平成20年3月)の将来像を「人が輝く水と緑の交流都市」と掲げて、これを実現するための施策として機能別土地利用の方向において、区域一帯は、「スポーツ・レクリエーションゾーン」として位置付けられ、良好な自然環境の保全と周辺環境との調和に配慮し、市民はもとより都市住民とのレクリエーション交流拠点としての整備を図るものとして位置付けられている。また、空港周辺については、空の交流エリアとして新たな交流空間の形成を推進するものとして位置付けられている。 ・なお、本市においては、合併以前の旧小川町において「小川町長期総合基本計画(平成元年3月)」では、「まちおこし」の重点施策として、「日本フットボールセンター(仮称)」を位置付け、フットボール振興に対する中心施設のあり方について検討してきた。 ・こうした背景のもと、平成20年8月には、有識者やスポーツ関係者、市民等からなる「小美玉市スポーツ施設整備計画等検討委員会」を組織し、広域的な吸引力をもった特色あるスポーツ・レクリエーション施設を整備し、これを起爆剤として本市のまちづくりを進め、スポーツ振興、市民の健康維持増進・疾病予防、多くの来訪者がもたらす経済的波及効果による地域経済の活性化、さらには、茨城空港の利用促進に寄与するために小美玉市スポーツ施設整備基本構想(平成20年3月)を策定した。 ・また、平成22年に関係諸団体、行政等関係者からなる策定委員会を設置し、茨城空港や小美玉市の魅力・情報を発信する拠点として、地域資源をPRし、様々な地域の人々との交流の場を創造することによって、本市の「魅力的なまちづくり」の一翼を担うことを目的として、(仮称)茨城空港「空の駅」整備構想(平成23年3月)を策定した。
<b>課題</b> ・本市の人口は、平成12年の53,406人をピークに減少傾向にあるとともに、区域及び隣接・近接する先後、上小岩戸、寺崎地区等では、人口減少が見られ、活性化を図ることが必要である。 ・また、スポーツ振興、交流の拡大、市民の健康維持増進・疾病予防、多くの来訪者がもたらす経済的波及効果による地域経済の活性化、さらには、茨城空港の利用促進に寄与する地域づくりを図ることが必要である。 ・さらに、それぞれの交流拠点において、空港の集客効果を最大限享受するために、相互連携を図り相乗的な市の魅力向上、賑わいの創出、環境整備などが必要である。
<b>将来ビジョン(中長期)</b> ・小美玉市総合計画(平成20年3月)の将来像を「人が輝く水と緑の交流都市」と掲げており、機能別土地利用の方向においては、区域一帯は「スポーツ・レクリエーションゾーン」「空の交流エリア、ゲートウェイゾーン」として位置付けられ、良好な自然環境の保全と周辺環境との調和に配慮し、市民はもとより都市住民とのレクリエーション交流拠点としての整備を図るもの、新たな交流空間の形成を推進するものとして位置付けられている。 ・小美玉市計画区域の整備、開発及び保全の方針(平成19年3月決定)において、当該地区は、主要な緑地の確保目標として、整備中又はおおむね10年以内に着手することを予定する主要な公園緑地等(都市計画施設)として「(仮称)八幡池周辺緑地(都市計画公園)」が位置付けられている。 ・市町村の都市計画に関する基本的な方針(平成22年3月)において、根幹的な都市基盤の整備の推進、茨城空港周辺や地域における交流拠点、産業振興に寄与する事業・施策の展開などにより、未来を拓く賑わい・活力あるまちづくりの推進すると位置付けられている。

<b>目標を定量化する指標</b>							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
運動公園の利用者数	人	運動公園への年間来訪者数	市民及び都市住民とのスポーツ・レクリエーション交流拠点の形成により、運動公園が利用、活用されていることを検証する指標	124,000	平成20年	190,600	平成25年
小美玉市へのスポーツ吸収人口	人	茨城県生活行動圏調査による小美玉市へのスポーツにおける吸収人口	市民及び都市住民とのスポーツ・レクリエーション交流拠点の形成により、小美玉市への吸収人口の増加を目指す指標	41,025	平成20年	60,000	平成25年
(仮称)小美玉市「空の駅」利用者数	人	(仮称)小美玉市「空の駅」への年間来訪者数	市民及び都市住民との観光交流拠点の形成により、観光施設が利用、活用されていることを検証する指標	0	平成23年	134,000	平成25年

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉スポーツシュール部分及び空港周辺において、市民はもとより多くの都市住民が訪れ交流する空間を形成する。</li> <li>・さらに、施設を活用し健康づくり、交流の場づくり、地域振興の拠点づくりなど魅力的なまちづくりを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉スポーツシュール整備事業(公園:基幹事業)</li> <li>・(仮称)小美玉市「空の駅」広場整備事業(地域生活基盤施設:基幹事業)</li> <li>・観光交流センター整備事業(高次都市施設:基幹事業)</li> <li>・滞在型研修施設整備事業(地域創造支援事業:提案事業)</li> <li>・特産品販売促進施設(地域創造支援事業:提案事業)</li> <li>・公園整備基礎調査事業(事業活用調査:提案事業)</li> <li>・公園PR活動推進事業(まちづくり活動推進事業:提案事業)</li> <li>・公園利用促進事業(まちづくり活動推進事業:提案事業)</li> <li>・(仮称)小美玉市「空の駅」PR活動推進事業(まちづくり活動事業:提案事業)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者のアクセス道路及び地域住民の身近な生活道路である市道については、改築整備を図る。</li> <li>・市内をはじめ広域的な誘客を図る幹線道路の強化・連携を図るため、骨格的な道路網を構成する主要な幹線道路の改築整備を図る。</li> <li>・アクセス道路において、来訪者を安全かつ快適に誘導できるデザイン案内版等の設置を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道美1-3号線道路改築事業(道路:基幹事業)</li> <li>・(仮称)常陸平野空港線整備事業(道路:基幹事業)</li> <li>・市道美1-18号線外2整備事業(道路:基幹事業)</li> <li>・市道美1554号線整備事業(道路:基幹事業)</li> <li>・市道美2-3号線(エントランス)道路改築事業(道路:基幹事業)</li> <li>・施設案内板設置事業(地域生活基盤施設:基幹事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	



市町村決定計画及び市町村施行国道等事業に関する事項

※該当がない場合は本シートをつける必要はない

市町村決定計画

都市施設及び市街地 開発事業の種類	決定/変更	名称	その他必要な事項	変更の概要	都市再生整備計画 の公告(予定)年月 日	都市計画の決定又 は変更の期限
都市計画公園	決定	小美玉スポーツシューレ公園	運動公園、A=14.5ha		平成21年4月1日	平成25年3月31日

市町村施行国道等事業

道路の種類	路線名	新設又は改築の内容

都市再生整備計画の区域

<p>小美玉スポーツシュール地区(茨城県小美玉市)</p>	<p>面積 1031 ha</p>	<p>区域 先後、小岩戸、寺崎、西郷地、納場、部室、堅倉、柴高、世楽、野田、川戸、山野、外之内、与沢の各一部</p>
-------------------------------	-------------------	--

